

Mrk

Chapter 4

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 καὶ πάλιν, ἤρξατο διδάσκειν παρὰ τὴν θάλασσαν. καὶ συνάγεται
そして再び始めた教える-ことを ~のそばで (~の) 海-の すると 集まった
[G2532](#) [G3825](#) [G0756](#) [G1321](#) [G3844](#) [G3588](#) [G2281](#) [G2532](#) [G4863](#)
- πρὸς αὐτὸν ὄχλος πλεῖστος, ὥστε αὐτὸν εἰς πλοῖον ἐμβάντα,
~の-もと-に 彼 群衆-が 非常に-大きな ~ほどに 彼-は ~の中-へ 舟-に 乗り込んで
[G4314](#) [G0846](#) [G3793](#) [G4118](#) [G5620](#) [G0846](#) [G1519](#) [G4143](#) [G1684](#)
- καθῆσθαι ἐν τῇ θαλάσῃ, καὶ πᾶς ὁ ὄχλος πρὸς τὴν
座った ~の上-に (~の) 海-の そして すべて-の (~の) 群衆-は ~に-面して (~の)
[G2521](#) [G1722](#) [G3588](#) [G2281](#) [G2532](#) [G3956](#) [G3588](#) [G3793](#) [G4314](#) [G3588](#)
- θάλασσαν, ἐπὶ τῆς γῆς ἦσαν.
海-に ~の上-に (~の) 地-に いた
[G2281](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#) [G1510](#)

イエスはまたも、海べで教えはじめられた。おびたしい群衆がみもとに集まったので、イエスは舟に乗ってすわったまま、海上におられ、群衆はみな海に沿って陸地にいた。

- 2 καὶ ἐδίδασκεν αὐτοὺς ἐν παραβολαῖς πολλά, καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς,
そして 教えていた 彼ら-を ~で たとえ-で 多く-の-こと-を そして 言った 彼ら-に
[G2532](#) [G1321](#) [G0846](#) [G1722](#) [G3850](#) [G4183](#) [G2532](#) [G3004](#) [G0846](#)
- ἐν τῇ διδαχῇ αὐτοῦ,
~の中-で (~の) 教え-の 彼-の
[G1722](#) [G3588](#) [G1322](#) [G0846](#)

イエスは譬で多くの事を教えられたが、その教の中で彼らにこう言われた、

- 3 Ἀκούετε! ἰδοὺ, ἐξῆλθεν ὁ σπείρων σπεῖραι.
聞きなさい 見よ 出て行った (~の) 種-蒔く-者-が 蒔く-ために
[G0191](#) [G3708](#) [G1831](#) [G3588](#) [G4687](#) [G4687](#)

「聞きなさい、種まきが種をまきに出て行った。

- 4 καὶ ἐγένετο ἐν τῷ σπείρειν, ὃ μὲν ἔπεσεν παρὰ τὴν
すると 起こった ~の-際-に (~の) 蒔く-とき ある-もの-は (一方) 落ちた ~の-そば-に (~の)
[G2532](#) [G1096](#) [G1722](#) [G3588](#) [G4687](#) [G3739](#) [G3303](#) [G4098](#) [G3844](#) [G3588](#)
- ὁδόν, καὶ ἦλθεν τὰ πετεινὰ, καὶ κατέφαγεν αὐτό.
道-の すると 来た (~の) 鳥-たち-が そして 食い尽くした それ-を
[G3598](#) [G2532](#) [G2064](#) [G3588](#) [G4071](#) [G2532](#) [G2719](#) [G0846](#)

まいているうちに、道ばたに落ちた種があった。すると、鳥がきて食べてしまった。

5 καὶ ἄλλο ἔπεσεν ἐπὶ τὸ πετρῶδες, (καὶ) ὅπου οὐκ
 また 別-の-もの-は 落ちた ~の上-に (~の) 岩地-に (そして) ~する-ところ ~ない
[G2532](#) [G0243](#) [G4098](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4075](#) [G2532](#) [G3699](#) [G3756](#)

εἶχεν γῆν πολλήν, καὶ εὐθύς ἐξανέτειλεν, διὰ τὸ μὴ ἔχειν
 持たない 土-を 多く-の そして すぐに 芽を出した ~の-ゆえに (~の) ~ない 持た-ない
[G2192](#) [G1093](#) [G4183](#) [G2532](#) [G2112](#) [G1816](#) [G1223](#) [G3588](#) [G3361](#) [G2192](#)

βάθος γῆς.
 深さ-を 土-の
[G0899](#) [G1093](#)

ほかの種は土の薄い石地に落ちた。そこは土が深くないので、すぐ芽を出したが、

6 καὶ ὅτε ἀνέτειλεν ὁ ἥλιος, ἐκαυματίσθη, καὶ διὰ τὸ μὴ
 そして ~した-とき 昇った (~の) 太陽-が 焼かれた そして ~の-ゆえに (~の) ~ない
[G2532](#) [G3753](#) [G0393](#) [G3588](#) [G2246](#) [G2739](#) [G2532](#) [G1223](#) [G3588](#) [G3361](#)

ἔχειν ῥίζαν, ἐξηράνθη.
 持た-ない 根-を 枯れた
[G2192](#) [G4491](#) [G3583](#)

日が上ると焼けて、根がないために枯れてしまった。

7 καὶ ἄλλο ἔπεσεν εἰς τὰς ἀκάνθας, καὶ ἀνέβησαν αἱ
 また 別-の-もの-は 落ちた ~の中-に (~の) いばら-の中-に すると 伸びた (~の)
[G2532](#) [G0243](#) [G4098](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0173](#) [G2532](#) [G0305](#) [G3588](#)

ἄκανθαί, καὶ συνέπνιξαν αὐτό, καὶ καρπὸν οὐκ ἔδωκεν.
 いばら-が そして ふさいだ それ-を そして 実-を ~ない 結ばなかった
[G0173](#) [G2532](#) [G4846](#) [G0846](#) [G2532](#) [G2590](#) [G3756](#) [G1325](#)

ほかの種はいばらの中に落ちた。すると、いばらが伸びて、ふさいでしまったので、実を結ばなかった。

8 καὶ ἄλλα ἔπεσεν εἰς τὴν γῆν τὴν καλήν, καὶ ἐδίδου
 また 別-の-もの-は 落ちた ~の上-に (~の) 土-に (~の) 良い そして 与えた
[G2532](#) [G0243](#) [G4098](#) [G1519](#) [G3588](#) [G1093](#) [G3588](#) [G2570](#) [G2532](#) [G1325](#)

καρπὸν, ἀναβαίνοντα καὶ αὐξανόμενα, καὶ ἔφερον ἐν τριάκοντα,
 実-を 成長して そして 増えて そして もたらした ある-もの-は 三十-倍
[G2590](#) [G0305](#) [G2532](#) [G0837](#) [G2532](#) [G5342](#) [G1520](#) [G5144](#)

καὶ ἐν ἑξήκοντα, καὶ ἐν ἑκατόν.
 また ある-もの-は 六十-倍 また ある-もの-は 百-倍
[G2532](#) [G1520](#) [G1835](#) [G2532](#) [G1520](#) [G1540](#)

ほかの種は良い地に落ちた。そしてはえて、育て、ますます実を結び、三十倍、六十倍、百倍にもなった」。

9 καὶ ἔλεγεν, Ὅς ἔχει ὦτα ἀκούειν, ἀκουέτω.
 そして 言った (~する) 持つ 耳-を 聞く-ための 聞きなさい
[G2532](#) [G3004](#) [G3739](#) [G2192](#) [G3775](#) [G0191](#) [G0191](#)

そして言われた、「聞く耳のある者は聞くがよい」。

10 Καὶ ὅτε ἐγένετο κατὰ μόνας, ἠρώτων αὐτὸν οἱ περὶ
 そして ~した-とき ~なった ~の-状態-に 独り-で 尋ねた 彼-に (~の) ~の-周り-の
[G2532](#) [G3753](#) [G1096](#) [G2596](#) [G3441](#) [G2065](#) [G0846](#) [G3588](#) [G4012](#)

αὐτὸν σὺν τοῖς δώδεκα, τὰς παραβολάς.
 彼 ~と-共に (~の) 十二-人-が (~の) たとえ-を
[G0846](#) [G4862](#) [G3588](#) [G1427](#) [G3588](#) [G3850](#)

イエスがひとりになられた時、そばにいた者たちが、十二弟子と共に、これらの譬について尋ねた。

11 καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Ὑμῖν τὸ μυστήριον δέδοται τῆς βασιλείας
 そして 言った 彼ら-に あなたがた-には (~の) 奥義-が 与えられている (~の) 御国-の
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G4771](#) [G3588](#) [G3466](#) [G1325](#) [G3588](#) [G0932](#)

τοῦ Θεοῦ. ἐκεῖνοις δὲ τοῖς ἔξω, ἐν παραβολαῖς τὰ πάντα
 (~の) 神-の あ-の-者-たち-には しかし (~の) 外-の ~で たとえ-で (~の) すべて-が
[G3588](#) [G2316](#) [G1565](#) [G1161](#) [G3588](#) [G1854](#) [G1722](#) [G3850](#) [G3588](#) [G3956](#)

γίνεται,
 なされる
[G1096](#)

そこでイエスは言われた、「あなたがたには神の国の奥義が授けられているが、ほかの者たちには、すべてが譬で語られる。

12 ἵνα βλέποντες, βλέπωσιν καὶ μὴ ἴδωσιν; καὶ ἀκούοντες, ἀκούωσιν
 ~するため 見ながら 見ても しかし ~ない 悟ら-ない そして 聞きながら 聞いても
[G2443](#) [G0991](#) [G0991](#) [G2532](#) [G3361](#) [G3708](#) [G2532](#) [G0191](#) [G0191](#)

καὶ μὴ συνιῶσιν; μή ποτε ἐπιστρέψωσιν, καὶ
 しかし ~ない 理解し-ない ~しない-ように いつか 立ち返-って そして
[G2532](#) [G3361](#) [G4920](#) [G3361](#) [G4219](#) [G1994](#) [G2532](#)

ἀφεθῆ
 赦される-ことが-ない-ように 彼ら-に
[G0863](#) [G0846](#)

それは『彼らは見るには見るが、認めず、聞くには聞くが、悟らず、悔い改めてゆるされることがない』ためである」。

13 καὶ λέγει αὐτοῖς, Οὐκ οἴδατε τὴν παραβολὴν ταύτην? καὶ
 そして 言う 彼ら-に ~ない わからない-のか (~の) たとえ-を この それでは
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G3756](#) [G1492](#) [G3588](#) [G3850](#) [G3778](#) [G2532](#)

πῶς πάσας τὰς παραβολὰς γνώσεσθε?
 どうして すべて-の (~の) たとえ-を わかるの-か
[G4459](#) [G3956](#) [G3588](#) [G3850](#) [G1097](#)

また彼らに言われた、「あなたがたはこの譬がわからないのか。それでは、どうしてすべての譬がわかるだろうか。

14 ὁ σπείρων τὸν λόγον σπείρει.
 (~の) 種-蒔く-者-は (~の) 御言葉-を 蒔く
[G3588](#) [G4687](#) [G3588](#) [G3056](#) [G4687](#)

種まきは御言をまくのである。

15 οὗτοι δὲ εἰσιν οἱ παρὰ τὴν ὁδὸν, ὅπου σπεύρεται
 これら-の-者-は (~は) ~である (~の) ~の-そば-の (~の) 道-の ~する-ところ 蒔かれる
[G3778](#) [G1161](#) [G1510](#) [G3588](#) [G3844](#) [G3588](#) [G3598](#) [G3699](#) [G4687](#)

ὁ λόγος, καὶ ὅταν ἀκούσωσιν, εὐθὺς ἔρχεται ὁ Σατανᾶς, καὶ
 (~の) 御言葉-が そして ~する-とき 聞く-と すぐに 来る (~の) サタン-が そして
[G3588](#) [G3056](#) [G2532](#) [G3752](#) [G0191](#) [G2112](#) [G2064](#) [G3588](#) [G4567](#) [G2532](#)

αἶρει τὸν λόγον τὸν ἐσπαρμένον εἰς αὐτοῦς.
 取り去る (~の) 御言葉-を (~の) 蒔かれた ~の-中-に 彼ら-の
[G0142](#) [G3588](#) [G3056](#) [G3588](#) [G4687](#) [G1519](#) [G0846](#)

道ばたに御言がまかれたとは、こういう人たちのことである。すなわち、御言を聞くと、すぐにサタンがきて、彼らの中にまかれた御言を、奪って行くのである。

16 καὶ οὗτοί εἰσιν ὁμοίως οἱ ἐπὶ τὰ πετρώδη σπειρόμενοι,
 また これら-は ~である 同じように (~の) ~の上-の (~の) 岩地-に 蒔かれた-もの
[G2532](#) [G3778](#) [G1510](#) [G3668](#) [G3588](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4075](#) [G4687](#)

οἱ, ὅταν ἀκούσωσιν τὸν λόγον, εὐθὺς μετὰ χαρᾶς
 彼ら-は ~する-とき 聞く-と (~の) 御言葉-を すぐに ~と-共に 喜び-を-もって
[G3739](#) [G3752](#) [G0191](#) [G3588](#) [G3056](#) [G2112](#) [G3326](#) [G5479](#)

λαμβάνουσιν αὐτόν,
 受け入れる それ-を
[G2983](#) [G0846](#)

同じように、石地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞くと、すぐに喜んで受けるが、

17 καὶ οὐκ ἔχουσιν ῥίζαν ἐν ἑαυτοῖς, ἀλλὰ πρόσκαιροί εἰσιν;
 しかし ~ない 持たない 根-を ~の中-に 自分-たち-の むしろ 一時的-な ~である
[G2532](#) [G3756](#) [G2192](#) [G4491](#) [G1722](#) [G1438](#) [G0235](#) [G4340](#) [G1510](#)

εἶτα γενομένης θλίψεως ἢ διωγμοῦ διὰ τὸν λόγον, εὐθὺς
 それから 起こった-とき 苦難-や あるいは 迫害-が ~の-ゆえに (~の) 御言葉-の すぐに
[G1534](#) [G1096](#) [G2347](#) [G2228](#) [G1375](#) [G1223](#) [G3588](#) [G3056](#) [G2112](#)

σκανδαλίζονται.
 つまずく
[G4624](#)

自分の中に根がないので、しばらく続くだけである。そののち、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。

18 καὶ ἄλλοι εἰσιν οἱ εἰς τὰς ἀκάνθας σπειρόμενοι.
 また 別-の-者-たち-は ~である (~の) ~の中-の (~の) いばら-の中-に 蒔かれた-もの
[G2532](#) [G0243](#) [G1510](#) [G3588](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0173](#) [G4687](#)

οὗτοί εἰσιν οἱ, τὸν λόγον ἀκούσαντες,
 これら-は ~である (~の) (~の) 御言葉-を 聞いた-者-たち
[G3778](#) [G1510](#) [G3588](#) [G3588](#) [G3056](#) [G0191](#)

また、いばらの中にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞くが、

19 καὶ αἱ μέριμναι τοῦ αἰῶνος, καὶ ἡ ἀπάτη τοῦ πλούτου, καὶ
 しかし (~の) 思い煩い-が (~の) この-世-の また (~の) 惑わし-が (~の) 富-の また
[G2532](#) [G3588](#) [G3308](#) [G3588](#) [G0165](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0539](#) [G3588](#) [G4149](#) [G2532](#)

αἱ περὶ τὰ λοιπὰ, ἐπιθυμίαι εἰσπορευόμεναι, συμπνίγουσιν
 (~の) ~に-ついて-の (~の) その他-の-こと-への 欲望-が 入り込んで ふさぐ
[G3588](#) [G4012](#) [G3588](#) [G3062](#) [G1939](#) [G1531](#) [G4846](#)

τὸν λόγον, καὶ ἄκαρπος γίνεταί.
 (~の) 御言葉-を そして 実を結ばない ものとなる
[G3588](#) [G3056](#) [G2532](#) [G0175](#) [G1096](#)

世の心づかいと、富の惑わしと、その他いろいろな欲とがはいつてきて、御言をふさぐので、実を結ばなくなる。

- 20 καὶ ἐκεῖνοί εἰσιν οἱ ἐπὶ τὴν γῆν τὴν καλὴν σπαρέντες;
 また あの-者-たち-は ~である (〜の) ~の上-の (〜の) 土-に (〜の) 良い 蒔かれた-もの
[G2532](#) [G1565](#) [G1510](#) [G3588](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#) [G3588](#) [G2570](#) [G4687](#)
- οἵτινες ἀκούουσιν τὸν λόγον καὶ παραδέχονται, καὶ καρποφοροῦσιν,
 彼ら-は 聞いて (〜の) 御言葉-を そして 受け入れ そして 実を結ぶ
[G3748](#) [G0191](#) [G3588](#) [G3056](#) [G2532](#) [G3858](#) [G2532](#) [G2592](#)
- ἐν τριάκοντα, καὶ ἐν ἑξήκοντα, καὶ ἐν ἑκατόν.
 ある-もの-は 三十-倍 また ある-もの-は 六十-倍 また ある-もの-は 百-倍
[G1520](#) [G5144](#) [G2532](#) [G1520](#) [G1835](#) [G2532](#) [G1520](#) [G1540](#)

「また、良い地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶのである」。

- 21 Καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, ὅτι Μῆτι ἔρχεται ὁ λύχνος ἵνα
 そして 言った 彼ら-に (〜と) ~だろう-か 来る (〜の) 灯-が ~する-ため-に
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G3754](#) [G3385](#) [G2064](#) [G3588](#) [G3088](#) [G2443](#)
- ὕπὸ τὸν μόδιον τεθῆ, ἢ ὑπὸ τὴν κλίνην? οὐχ
 ~の下-に (〜の) 升-の 置かれる あるいは ~の下-に (〜の) 寝台-の ~では-ない-か
[G5259](#) [G3588](#) [G3426](#) [G5087](#) [G2228](#) [G5259](#) [G3588](#) [G2825](#) [G3756](#)
- ἵνα ἐπὶ τὴν λυχνίαν τεθῆ?
 ~する-ため-に ~の上-に (〜の) 燭台-の 置かれる-のではないか
[G2443](#) [G1909](#) [G3588](#) [G3087](#) [G5087](#)

「また彼らに言われた、「ますの下や寝台の下に置くために、あかりを持ってこることがあろうか。燭台の上に置くためではないか。」

- 22 οὐ γάρ ἐστιν τίτι κρυπτόν, ἐὰν μὴ ἵνα
 なぜなら (~は) ~ない 何-も 隠された-もの-は ~しない-限り ~ない ~する-ため-に
[G3756](#) [G1063](#) [G1510](#) [G5101](#) [G2927](#) [G1437](#) [G3361](#) [G2443](#)
- φανερωθῆ, οὐδὲ ἐγένετο ἀπόκρυφον, ἀλλ' ἵνα ἔλθῃ εἰς
 明らかにされる ~も-ない 起こった 秘密-は むしろ ~する-ため-に 来る ~の中-へ
[G5319](#) [G3761](#) [G1096](#) [G0614](#) [G0235](#) [G2443](#) [G2064](#) [G1519](#)
- φανερὸν.
 明るみ-に
[G5318](#)

「なんでも、隠されているもので、現れないものはなく、秘密にされているもので、明るみに出ないものはない。」

- 23 εἴ τις ἔχει ὦτα ἀκούειν, ἀκουέτω.
 もし 誰か-が 持つ 耳-を 聞く-ための 聞きなさい
[G1487](#) [G5100](#) [G2192](#) [G3775](#) [G0191](#) [G0191](#)

「聞く耳のある者は聞くがよい」。

- 24 Καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Βλέπετε τί ἀκούετε: ἐν ᾧ μέτρῳ μετρεῖτε
 そして 言った 彼ら-に 気をつけなさい 何-を 聞く-か ~で (〜の) 量り-で 量る
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G0991](#) [G5101](#) [G0191](#) [G1722](#) [G3739](#) [G3358](#) [G3354](#)
- μετρηθήσεται ὑμῖν, καὶ προστεθήσεται ὑμῖν.
 量り返される あなたがた-に そして 加えられる あなたがた-に
[G3354](#) [G4771](#) [G2532](#) [G4369](#) [G4771](#)

「また彼らに言われた、「聞くことがらに注意しなさい。あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられ、その上になお増し加えられるであろう。」

25 ὅς γὰρ ἔχει, δοθήσεται αὐτῷ; καὶ ὅς οὐκ ἔχει,
 なぜなら (~は) 持つ-者-は 与えられる 彼-に しかし (~する) ~ない 持たない-者-は
[G3739](#) [G1063](#) [G2192](#) [G1325](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3739](#) [G3756](#) [G2192](#)
 καὶ ὁ ἔχει ἀρθήσεται ἀπ' αὐτοῦ.
 ~も-また (~の) 持つ-もの-さえ 取り去られる ~から 彼-から
[G2532](#) [G3739](#) [G2192](#) [G0142](#) [G0575](#) [G0846](#)

だれでも、持っている人は更に与えられ、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであろう」。

26 Καὶ ἔλεγεν, Οὕτως ἐστὶν ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ, ὡς ἄνθρωπος
 そして 言った このように ~である (~の) 御国-は (~の) 神-の ~のように 人-が
[G2532](#) [G3004](#) [G3779](#) [G1510](#) [G3588](#) [G0932](#) [G3588](#) [G2316](#) [G5613](#) [G0444](#)
 βάλη τὸν σπόρον ἐπὶ τῆς γῆς,
 蒔く (~の) 種-を ~の-上-に (~の) 地-に
[G0906](#) [G3588](#) [G4703](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#)

また言われた、「神の国は、ある人が地に種をまくようなものである。

27 καὶ καθεύδῃ, καὶ ἐγείρηται νύκτα καὶ ἡμέραν, καὶ ὁ σπόρος
 そして 眠り そして 起きる 夜-も また 昼-も そして (~の) 種-は
[G2532](#) [G2518](#) [G2532](#) [G1453](#) [G3571](#) [G2532](#) [G2250](#) [G2532](#) [G3588](#) [G4703](#)
 βλαστᾷ καὶ μηκύνηται; ὡς οὐκ οἶδεν αὐτός.
 芽を出し そして 伸びる ~のように ~ない 知ら-ない 彼-自身-は
[G0985](#) [G2532](#) [G3373](#) [G5613](#) [G3756](#) [G1492](#) [G0846](#)

夜昼、寝起きしている間に、種は芽を出して育って行くが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。

28 αὐτομάτη ἡ γῆ καρποφορεῖ-- πρῶτον χόρτον, εἶτα στάχυν, εἶτα
 自ら (~の) 地-は 実を結ぶ まず 茎-を 次に 穂-を それから
[G0844](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2592](#) [G4412](#) [G5528](#) [G1534](#) [G4719](#) [G1534](#)
 πλήρης σίτον ἐν τῷ στάχυϊ.
 豊か-な 穀物-を ~の-中-に (~の) 穂-の
[G4134](#) [G4621](#) [G1722](#) [G3588](#) [G4719](#)

地はおのずから実を結ばせるもので、初めに芽、つぎに穂、つぎに穂の中に豊かな実ができる。

29 ὅταν δὲ παραδοῖ ὁ καρπός, εὐθύς ἀποστέλλει τὸ δρέπανον,
 ~した-とき しかし 熟する-と (~の) 実-が すぐに 送る (~の) 鎌-を
[G3752](#) [G1161](#) [G3860](#) [G3588](#) [G2590](#) [G2112](#) [G0649](#) [G3588](#) [G1407](#)
 ὅτι παρέστηκεν ὁ θερισμός.
 なぜなら 来ている (~の) 収穫-が
[G3754](#) [G3936](#) [G3588](#) [G2326](#)

実がいと、すぐにかまを入れる。刈入れ時がきたからである」。

30 Καὶ ἔλεγεν, Πῶς ὁμοιώσωμεν τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ? ἢ ἐν
 そして 言った どのように たとえよう-か (~の) 御国-を (~の) 神-の あるいは ~で
[G2532](#) [G3004](#) [G4459](#) [G3666](#) [G3588](#) [G0932](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2228](#) [G1722](#)
 τίνι αὐτὴν παραβολῆ θῶμεν?
 どんな それ-を たとえ-で 示そう-か
[G5101](#) [G0846](#) [G3850](#) [G5087](#)

また言われた、「神の国を何に比べようか。また、どんな譬で言いあらわそうか。

31 ὡς κόκκῳ σινάπεως, ὅς, ὅταν σπαρῆ ἐπὶ τῆς γῆς,
 ~のように 粒-に からし-の それ-は ~する-とき 蒔かれる-と ~の-上-に (~の) 地-に
[G5613](#) [G2848](#) [G4615](#) [G3739](#) [G3752](#) [G4687](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#)

μικρότερον ὄν πάντων τῶν σπερμάτων τῶν ἐπὶ τῆς γῆς,
 最も-小さい ~である すべて-の (~の) 種-の-中-で (~の) ~の-上-の (~の) 地-の
[G3398](#) [G1510](#) [G3956](#) [G3588](#) [G4690](#) [G3588](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#)

それは一粒のからし種のようなものである。地にまかれる時には、地上のどんな種よりも小さいが、

32 καὶ ὅταν σπαρῆ, ἀναβαίνει, καὶ γίνεται μείζον πάντων τῶν
 しかし ~する-とき 蒔かれる-と 成長し そして なる 最も-大きく すべて-の (~の)
[G2532](#) [G3752](#) [G4687](#) [G0305](#) [G2532](#) [G1096](#) [G3173](#) [G3956](#) [G3588](#)

λαχάνων, καὶ ποιεῖ κλάδους μεγάλους, ὥστε δύνασθαι ὑπὸ τὴν
 野菜-の-中-で そして 作る 枝-を 大きな ~ほどに ~できる ~の-下-に (~の)
[G3001](#) [G2532](#) [G4160](#) [G2798](#) [G3173](#) [G5620](#) [G1410](#) [G5259](#) [G3588](#)

σκιάν αὐτοῦ τὰ πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ κατασκηνοῦν.
 陰-に その (~の) 鳥-たち-が (~の) 空-の 巣-を作る
[G4639](#) [G0846](#) [G3588](#) [G4071](#) [G3588](#) [G3772](#) [G2681](#)

まかれると、成長してどんな野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、その陰に空の鳥が宿るほどになる」。

33 Καὶ τοιαύταις παραβολαῖς πολλαῖς, ἐλάλει αὐτοῖς τὸν λόγον, καθὼς
 そして このような たとえ-で 多く-の 語った 彼ら-に (~の) 御言葉-を ~に-応じて
[G2532](#) [G5108](#) [G3850](#) [G4183](#) [G2980](#) [G0846](#) [G3588](#) [G3056](#) [G2531](#)

ἠδύναντο ἀκοῦειν,
 ~できた 聞く-ことが
[G1410](#) [G0191](#)

イエスはこのような多くの譬で、人々の聞く力にしたがって、御言を語られた。

34 χωρὶς δὲ παραβολῆς οὐκ, ἐλάλει αὐτοῖς; κατ' ἰδίαν
 ~なしに しかし たとえ-なしには ~ない 語ら-なかった 彼ら-に ~の-ところ-で ひそか-に
[G5565](#) [G1161](#) [G3850](#) [G3756](#) [G2980](#) [G0846](#) [G2596](#) [G2398](#)

δὲ τοῖς ἰδίοις μαθηταῖς, ἐπέλυεν πάντα.
 しかし (~の) 自分-の 弟子-たち-に 説き明かした すべて-を
[G1161](#) [G3588](#) [G2398](#) [G3101](#) [G1956](#) [G3956](#)

譬によらないでは語られなかったが、自分の弟子たちには、ひそかにすべてのことを解き明かされた。

35 Καὶ λέγει αὐτοῖς, ἐν ἐκείνῃ τῇ ἡμέρᾳ, ὀψίας γενομένης, Διέλθωμεν
 そして 言う 彼ら-に ~に あの (~の) 日-に 夕方-に なった-とき 渡ろう
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G1722](#) [G1565](#) [G3588](#) [G2250](#) [G3798](#) [G1096](#) [G1330](#)

εἰς τὸ πέραν.
 ~の (~の) 向こう-岸-へ
[G1519](#) [G3588](#) [G4008](#)

さてその日、夕方になると、イエスは弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われた。

36 καὶ ἀφέντες τὸν ὄχλον, παραλαμβάνουσιν αὐτὸν ὡς ἦν ἐν τῷ
 すると 離れて (~の) 群衆-を 連れて行く 彼-を ~のまま いた ~の-中-に (~の)
[G2532](#) [G0863](#) [G3588](#) [G3793](#) [G3880](#) [G0846](#) [G5613](#) [G1510](#) [G1722](#) [G3588](#)

πλοίῳ; καὶ ἄλλα πλοῖα ἦν μετ' αὐτοῦ.
 舟-の また ほか-の 舟-が いた ~と-共に 彼-と
[G4143](#) [G2532](#) [G0243](#) [G4143](#) [G1510](#) [G3326](#) [G0846](#)

そこで、彼らは群衆をあとに残し、イエスが舟に乗っておられるまま、乗り出した。ほかの舟も一緒に行った。

37 καὶ γίνεται λαῖλαψ μεγάλη ἀνέμου, καὶ τὰ κύματα ἐπέβαλλον εἰς
 すると 起こった 嵐-が 大きな 風-の そして (〜の) 波-が 打ち込んだ 〜の-中-に
[G2532](#) [G1096](#) [G2978](#) [G3173](#) [G0417](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2949](#) [G1911](#) [G1519](#)

τὸ πλοῖον, ὥστε ἤδη γεμίζεσθαι τὸ πλοῖον.
 (〜の) 舟-に 〜ほどに すでに いっぱいになる (〜の) 舟-が
[G3588](#) [G4143](#) [G5620](#) [G2235](#) [G1072](#) [G3588](#) [G4143](#)

すると、激しい突風が起り、波が舟の中に打ち込んできて、舟に満ちそうになった。

38 καὶ αὐτὸς ἦν ἐν τῇ πρύμνῃ, ἐπὶ τὸ προσκεφάλαιον
 しかし 彼-は いた 〜の-中-に (〜の) 船尾-で 〜の-上-に (〜の) 枕-に
[G2532](#) [G0846](#) [G1510](#) [G1722](#) [G3588](#) [G4403](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4344](#)

καθεύδων. καὶ ἐγείρουσιν αὐτὸν, καὶ λέγουσιν αὐτῷ, Διδάσκαλε, οὐ
 眠っていた すると 起こす 彼-を そして 言う 彼-に 先生 〜ない
[G2518](#) [G2532](#) [G1453](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G1320](#) [G3756](#)

μέλει σοι ὅτι ἀπολλύμεθα?
 心配-しない-のですか あなた-は (〜と) 滅びる-ことを
[G3199](#) [G4771](#) [G3754](#) [G0622](#)

ところがイエス自身は、舳の方でまくらをして、眠っておられた。そこで、弟子たちはイエスをおこして、「先生、わたしたどもがおぼれ死んでも、おかまいにならないのですか」と言った。

39 καὶ διεγερθεὶς ἐπετίμησεν τῷ ἀνέμῳ, καὶ εἶπεν τῇ θαλάσῃ, Σιώπα, Σιώπα,
 すると 起き上がって 叱った (〜の) 風-を そして 言った (〜の) 海-に 黙れ
[G2532](#) [G1326](#) [G2008](#) [G3588](#) [G0417](#) [G2532](#) [G3004](#) [G3588](#) [G2281](#) [G4623](#)

πεφίμωσο. καὶ ἐκόπασεν ὁ ἄνεμος, καὶ ἐγένετο γαλήνη μεγάλη.
 静まれ すると やんだ (〜の) 風-は そして なった 風-が 大きな
[G5392](#) [G2532](#) [G2869](#) [G3588](#) [G0417](#) [G2532](#) [G1096](#) [G1055](#) [G3173](#)

イエスは起きあがって風をしかり、海にむかって、「静まれ、黙れ」と言われると、風はやんで、大なぎになった。

40 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Τί δειλοί ἐστε, οὐπω ἔχετε πίστιν?
 すると 言った 彼ら-に なぜ 臆病-な のです-か まだ 持って-いない-のか 信仰-を
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G5101](#) [G1169](#) [G1510](#) [G3768](#) [G2192](#) [G4102](#)

イエスは彼らに言われた、「なぜ、そんなにこわがるのか。どうして信仰がないのか」。

41 καὶ ἐφοβήθησαν φόβον μέγαν, καὶ ἔλεγον πρὸς ἀλλήλους, Τίς ἄρα
 すると 恐れた 恐れ-を 大きな そして 言い合った 〜に 互い-に 誰 いったい
[G2532](#) [G5399](#) [G5401](#) [G3173](#) [G2532](#) [G3004](#) [G4314](#) [G0240](#) [G5101](#) [G0686](#)

οὗτός ἐστιν, ὅτι καὶ ὁ ἄνεμος καὶ ἡ θάλασσα ὑπακούει αὐτῷ?
 この-方-は 〜だろう (〜と) 〜さえ (〜の) 風-も また (〜の) 海-も 従う 彼-に
[G3778](#) [G1510](#) [G3754](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0417](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2281](#) [G5219](#) [G0846](#)

彼らは恐れおののいて、互に言った、「いったい、この方はだれだろう。風も海も従わせるとは」。